

サンブリーズⅢ型

テラス
サンブリーズⅢ型

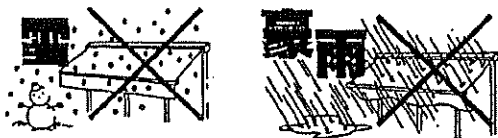
■取扱上の注意

▲注 意

①次の場合は、必ずオーニングを巻き取ってください。

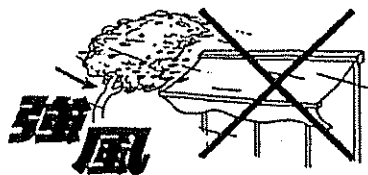
(イ) 豪雨や降雪の時。

またはそれが予想される場合。



(ロ) 強風 (10m/s以上) の時。

または強風、突風が予想される場合。



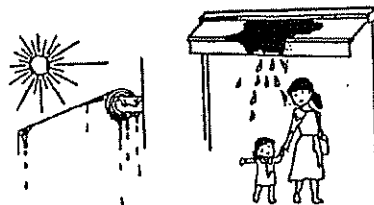
(ハ) 夜間および留守にする場合。

②雪や落ち葉がキャンバス上に積もってしまった場合は、これらを必ず除去してから巻き取ってください。そのまま巻き取りますと、キャンバス破損の原因となるばかりでなくオーニングの故障や落下事故につながります。



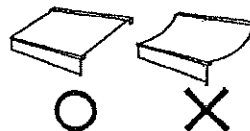
③雨や雪、結露等によりオーニングに付着した水分が凍結している場合は、溶解するまで操作しないでください。

また、オーニングに水分が溜まったままの状態で作動した場合、一度に多量の水が流出します。通行人や商品等周辺に十分注意して操作してください。

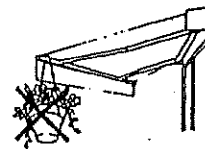


④キャンバスにたるみがなく、ピンと張った状態にして使用してください。

また、キャンバスのたるみが直らない場合や、万一水が溜まってしまつ場合は必ず、購入先に連絡し、調整してもらってください。多量の水が溜まるとオーニングの落下事故につながります。

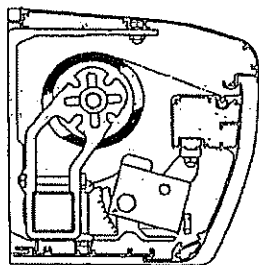


⑤前枠にものをぶらさげるなどして、荷重をかけないでください。



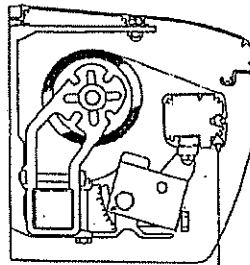
■機種

Ⓐボックスタイプ



※ボックスタイプの天井付はできません。

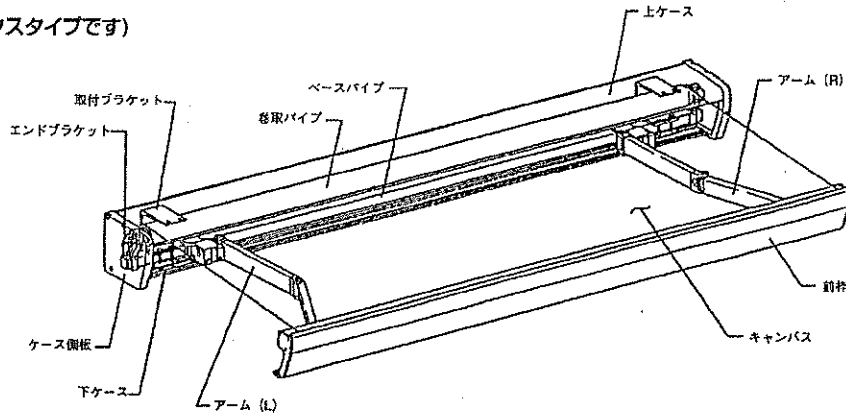
Ⓑスタンダードタイプ



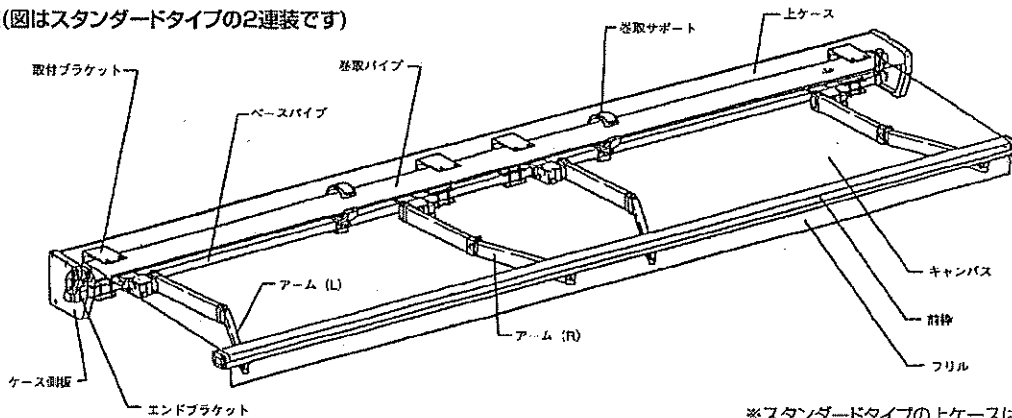
※スタンダードタイプの上ケースはオプションです。

■主要部材名称

㊸ 単装(図はボックスタイプです)



㊹ 連装(図はスタンダードタイプの2連装です)

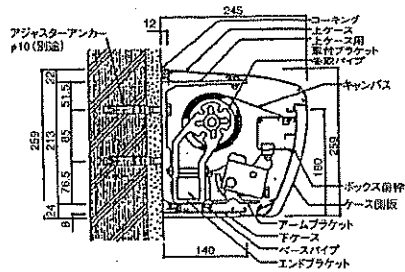


※スタンダードタイプの上ケースはオプションです。

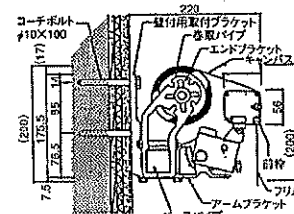
■取付けタイプ

㊿ 取付ブラケットには、大きな力がかかります。全体重量、セットボルト数等を確認の上、多少の風力などにも耐えるような強度を持てる構造体(柱、梁)に直接取り付けてください。取付面が軟弱なため、取り付けが難しい場合もあります。補強等をして取付面には、充分注意してください。

■コンクリート造壁納まり

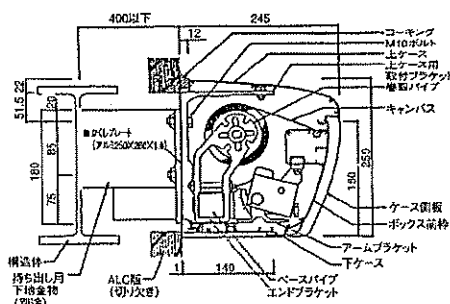


■木造壁面納まり



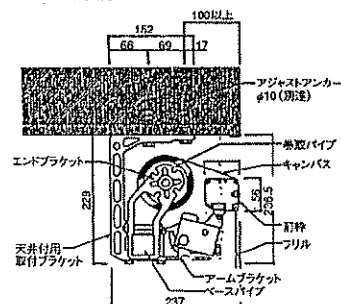
※コーチボルトは柱、梁等の構造体に直接締結してください。

■ALC造壁面納まり



※ALC造の場合、必ず構造体の鉄骨から下地金物を用いて取付けてください。

■コンクリート造天井納まり



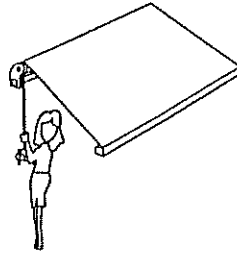
※木造の天井納まりはできません。
 ※ボックスタイプの天井付はできません。
 ※壁面から600mm以上離れているか、壁面のない場合は、ブラケット補強金物を用いてください。

サンブリーズⅢ型

■操作方法の種類

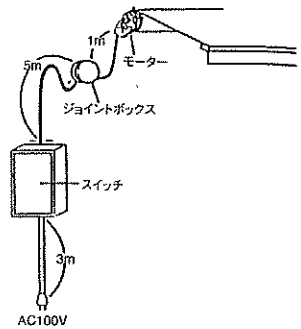
㊠ 手動操作 (ギア比 15:1)

手動ギアボックスを介してキャンバスを開閉します。操作はクランクハンドルを回転することにより行います。なお、手動ギアボックスには標準で逆転防止機構が装備されています。

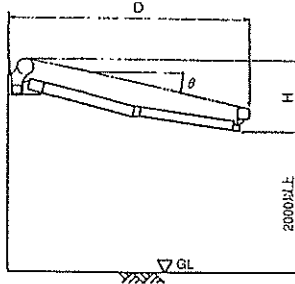


㊡ 電動操作

巻取パイプ内に内蔵されたモーターの回転によりキャンバスの開閉を行います。



■出巾と勾配の関係



■取付部高さ寸法の設定

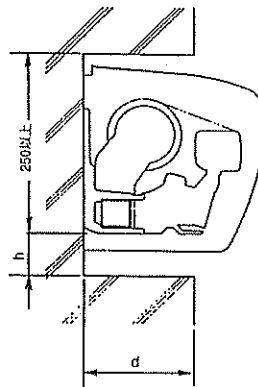
取付部の上下に障害物等がある場合は取付位置に注意してください。

㊠ 取付部の上部に障害物がある場合

取付ブラケット下端より障害物下端まで250mm以上確保してください。250mm以上確保できないと、上ケースが取り付けられない場合があります。

㊡ 取付部の下部に障害物がある場合

取付ブラケットの下端より障害物上端まで $h=60\text{mm}$ 以上確保してください。60mm以上確保しないと、取付ブラケットとベースパイプを固定するボルトを入れることができません。障害物の出巾とアーム角度によって h 寸法は変わりますので右表を参照してください。

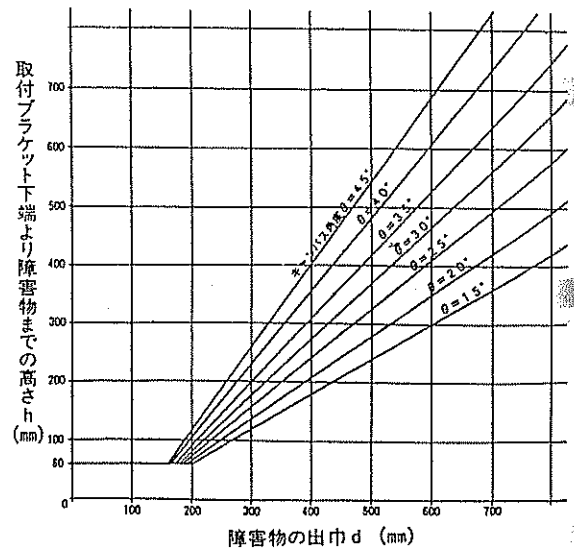


●勾配寸法表

単位: mm

出幅 勾配 θ	3尺		5尺		7尺	
	D	H	D	H	D	H
15°	1,135	440	1,520	540	2,000	670
20°	1,110	520	1,485	660	1,950	830
25°	1,075	605	1,435	770	1,885	980
30°	1,035	680	1,380	870	1,810	1,130
35°	990	755	1,315	985	1,720	1,270
40°	935	825	1,240	1,080	1,620	1,400
45°	875	890	1,160	1,170	1,505	1,520

キャンバス勾配は必ず15°以上確保してください。15°未満の場合は雨がたまることがあります。



※例えばキャンバス角度15°で障害物の出巾が600mmの場合 h 寸法は300mm以上確保する。

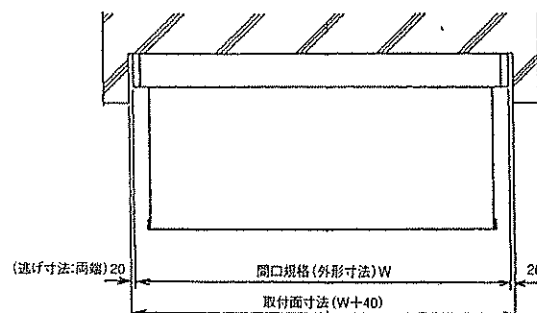
■寸法設定時の注意点

●間口寸法の設定

間口規格は、外形寸法（ケース側板外々）を基準としています。

※スタンダードタイプでオプションの上ケースを付けない場合でも側板の外々寸法（＝ベースパイプ寸法+20）を外形寸法 W として W 寸法で発注します。

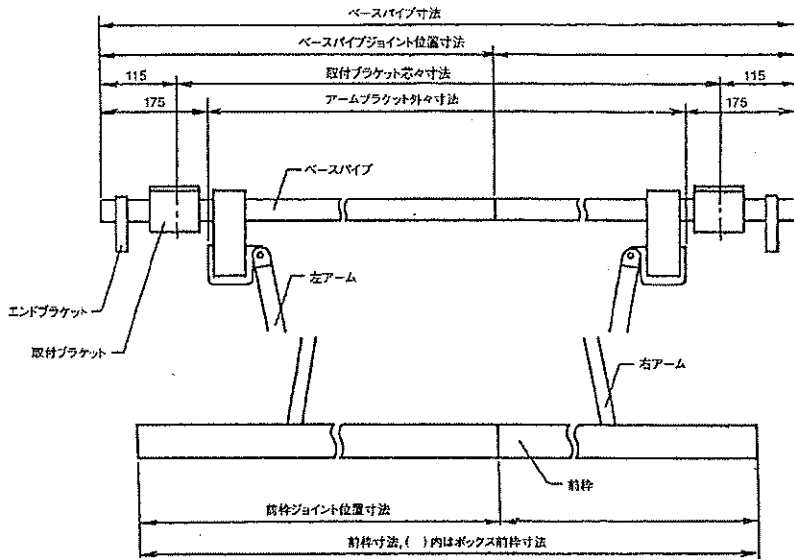
例：壁等の内々に取付ける場合



※例えば取付面寸法が5,000mmの場合発注寸法は、 $5,000-40=4,960\text{mm}$ となります。

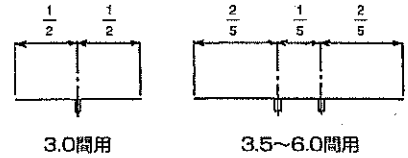
■間口規格別標準設置寸法

●標準部材設置寸法



●巻取サポート設置寸法

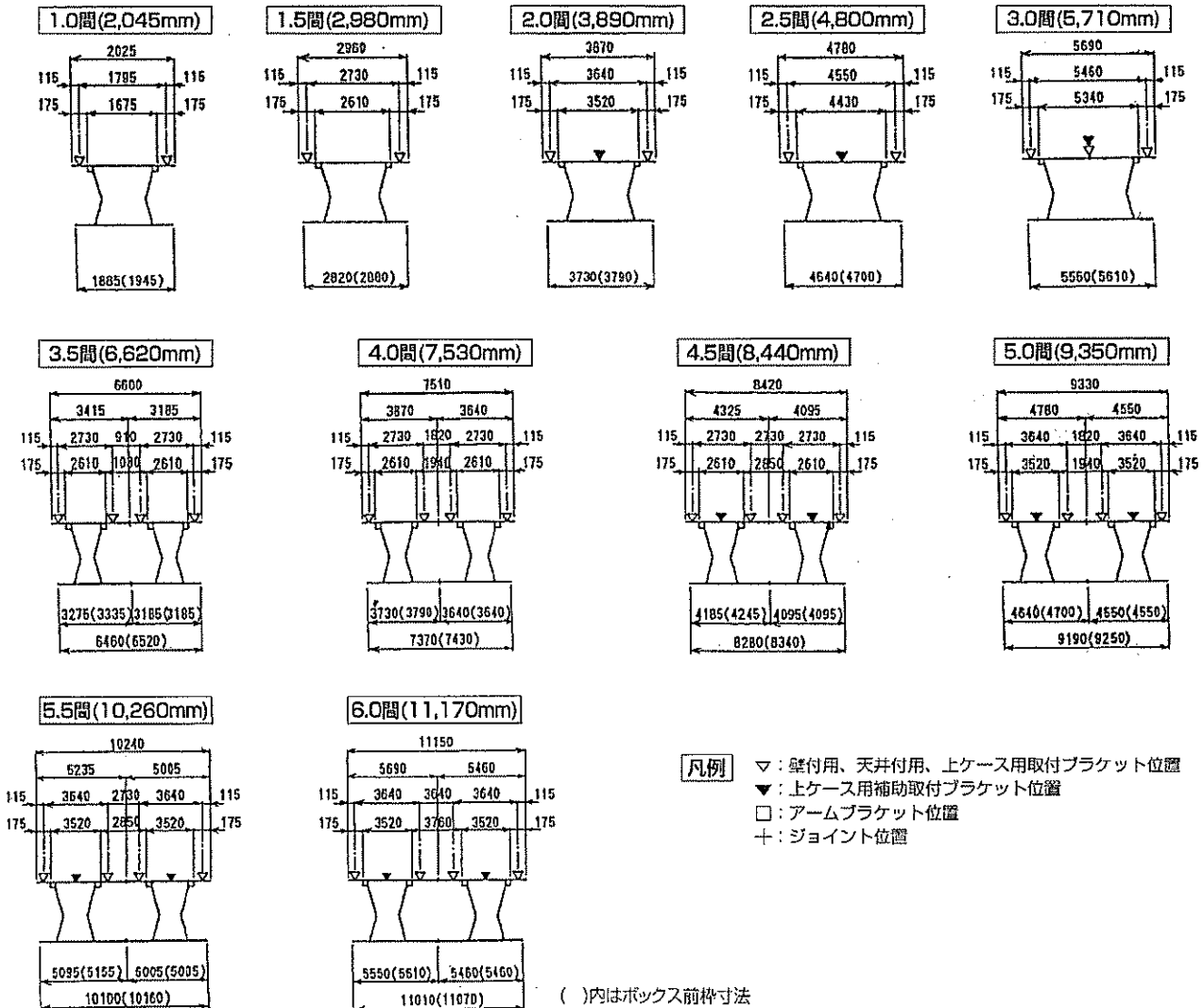
図は目安です。寸法近くのキャンパスウェルダ一部に設置してください。



注意：巻取サポートと取付ブラケットの取付位置が重なる場合は、巻取サポートの位置を優先してください。

テラス
サンブリーズⅢ型

●間口規格別標準設置寸法図



サンブリーズⅢ型

テラス
サンブリーズⅢ型

●商品コード、重量表

間口	間口呼称	機能区分	手 動			電 動		
			外形寸法	出幅	3R(1,000mm)	5R(1,500mm)	7R(2,000mm)	3R(1,000mm)
単 装	1.0間 (2,045mm)	商品コード 重量	WAZS103S 24.8kg			WAZD103S 26.6kg		
	1.5間 (2,980mm)	商品コード 重量	WAZS153S 31.5kg	WAZS155S 32.8kg	WAZS157S 35.8kg	WAZD153S 33.3kg	WAZD155S 34.6kg	WAZD157S 37.6kg
	2.0間 (3,890mm)	商品コード 重量	WAZS203S 38.1kg	WAZS205S 39.5kg	WAZS207S 42.7kg	WAZD203S 39.9kg	WAZD205S 41.3kg	WAZD207S 44.5kg
	2.5間 (4,800mm)	商品コード 重量		WAZS255S 47.0kg	WAZS257S 50.3kg		WAZD255S 48.7kg	WAZD257S 52.1kg
	3.0間 (5,710mm)	商品コード 重量		WAZS305S 53.7kg	WAZS307S 57.2kg		WAZD305S 55.5kg	WAZD307S 59.0kg
	3.5間 (6,620mm)	商品コード 重量		WAZS355S 73.9kg	WAZS357S 80.1kg		WAZD355S 77.5kg	WAZD357S 83.7kg
連 装	4.0間 (7,530mm)	商品コード 重量		WAZS405S 80.7kg	WAZS407S 87.0kg		WAZD405S 84.2kg	WAZD407S 90.6kg
	4.5間 (8,440mm)	商品コード 重量		WAZS455S 87.4kg	WAZS457S 93.9kg		WAZD455S 91.0kg	WAZD457S 97.5kg
	5.0間 (9,350mm)	商品コード 重量		WAZS505S 94.1kg	WAZS507S 100.8kg		WAZD505S 97.7kg	WAZD507S 104.4kg
	5.5間 (10,260mm)	商品コード 重量		WAZS555S 102.2kg	WAZS557S 109.1kg		WAZD555S 105.8kg	WAZD557S 112.7kg
	6.0間 (11,170mm)	商品コード 重量		WAZS605S 108.9kg	WAZS607S 119.6kg		WAZD605S 112.5kg	WAZD607S 119.6kg

注意

1. 数値はオリジナルキャンバスを含んだ本体の重量です。
2. 上ケース付(スタンダードタイプオプション)の場合は2.3kg/mとして計算し、上表の数値に加算してください。
3. ボックスタイプは上表の数値に5.1kg/mを加算してください。

●部材寸法公式表

外形寸法	前 枠		ベースパイプ	巻取パイプ	キャンバス	上・下ケース
	ボックスタイプ	スタンダードタイプ				
W	W-100	W-160	W-20	W-160	W-180	W-60

●出幅別最小間口寸法表

単位:mm

出幅呼称		3R	5R	7R
最小間口寸法(外形寸法)W		1,770	2,080	2,580
形 材 寸 法	上アーム	540	685	935
	前アーム	395	635	885
最小アームスパン		1,400	1,710	2,210

※最小アームスパンとは、アーム1ペアーのブラケット外々寸法です。

■取付ブラケットの取付け

●墨出し

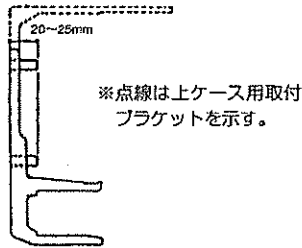
部材寸法に注意し、取付ブラケットのレベル、通りを、墨出して、取付ブラケットの穴位置をけがいでください。

●下穴あけ

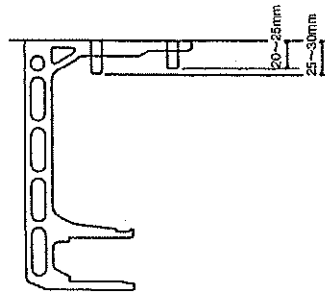
アジャストアンカー……10mmを使用する場合……φ15.0のキリを使用してください。
 コーチボルト……φ9を使用する場合……φ5.5のキリを使用してください。

■ボルト等の取付面からの出寸法

㊦ 壁付用、上ケース用取付ブラケットの場合



㊧ 天井付用ブラケットの場合



※表示寸法以内で設置してください。表示寸法より長くなると、キャンバスに接触します。

■取付ブラケットの種類

取付ブラケットは4種類あります。

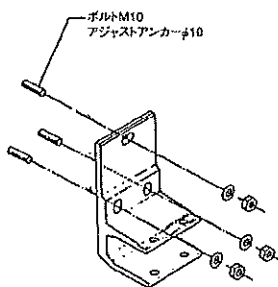
壁付用取付ブラケット		幅90mm	
天井付用取付ブラケット		幅90mm	
上ケース用取付ブラケット		幅90mm	上ケース設定の場合に限り使用
上ケース用補助取付ブラケット		幅45mm	上ケース設定の場合に限り使用

■取付ブラケットの取付け

※取付ブラケットは重量、使用に耐えられる構造体に直接取付けてください。

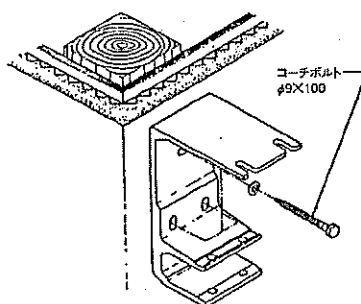
※取付ブラケットは壁面（天井面）に全体を密着させて取付けてください。

㊦ 鉄筋コンクリート造壁付



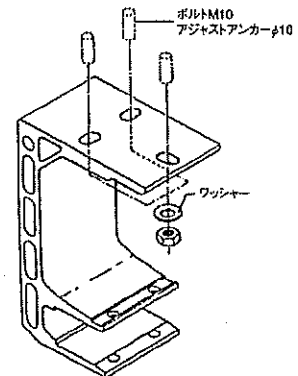
※図は壁付用取付ブラケットです

㊧ 木造壁付



※図は上ケース用取付ブラケットです

㊨ 鉄筋コンクリート造天井付



※木造の天井付はできません

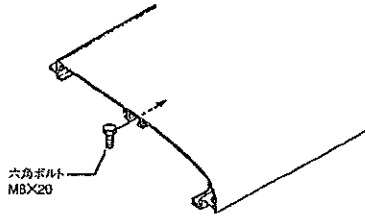
サンブリーズⅢ型

■上ケースの取付け

注意：上ケースの設定がある場合は必ず本体を組込む前に取付けてください。

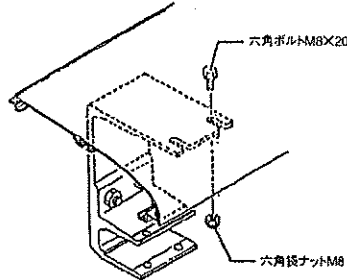
●ボルトのセット

必要数のボルトを上ケースのボルトガイドにセットしてください。

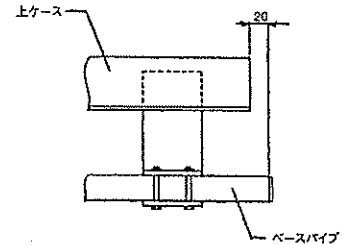


●上ケースの固定

各ボルトを上ケース用取付ブラケットの長穴に袋ナットで固定してください。

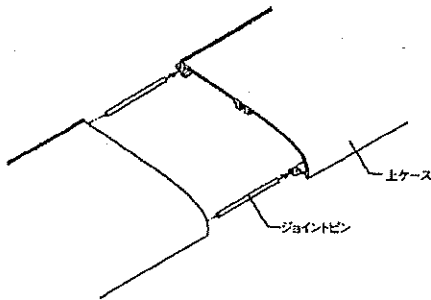


※上ケースの固定は、ベースパイプ端部から20mm内側にセットしてください。



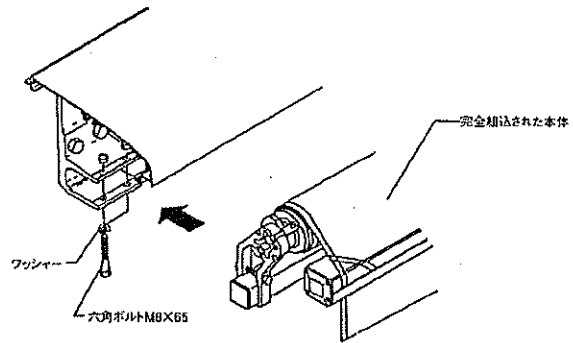
●上ケースのジョイント

上ケースが分割の場合はジョイントピン (2本) を使用して連結してください。



■組込製品の取付け

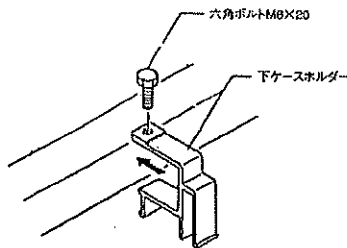
組込まれた本体を取付ブラケットにはめ込み、ボルト、ナットで固定してください。



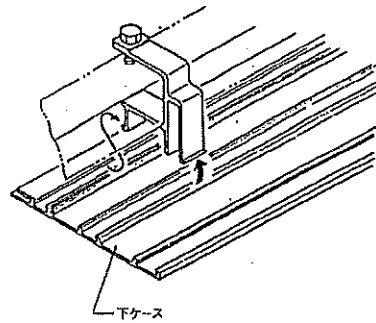
■下ケースの取付け

ボックスタイプの場合は、下ケースを取付けてください。

Ⓐ ベースパイプ正面から下ケースホルダーを差し込み、六角ボルトを締めます。

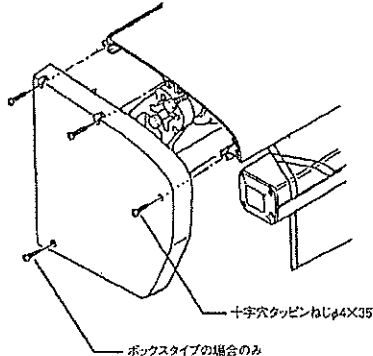


Ⓑ 先に下ケースの後方を下ケースホルダーにはめ込み、下ケースの前方を上押し上げると固定します。



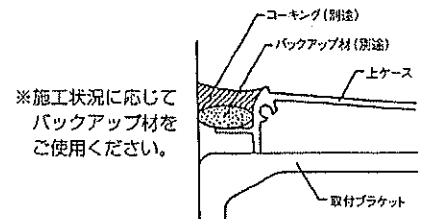
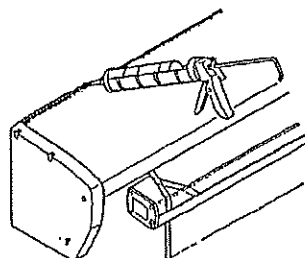
■側板の取付け

上ケースのみの場合は上部3ヶ所、ボックスタイプの場合は4ヶ所ビス止めしてください。



■コーキング

上ケースの設定がある場合は、ケース側板を取付けて、建物と上ケースの間をコーキングしてください。



※施工状況に応じてバックアップ材をご使用ください。

■ 連装の場合のジョイント組立

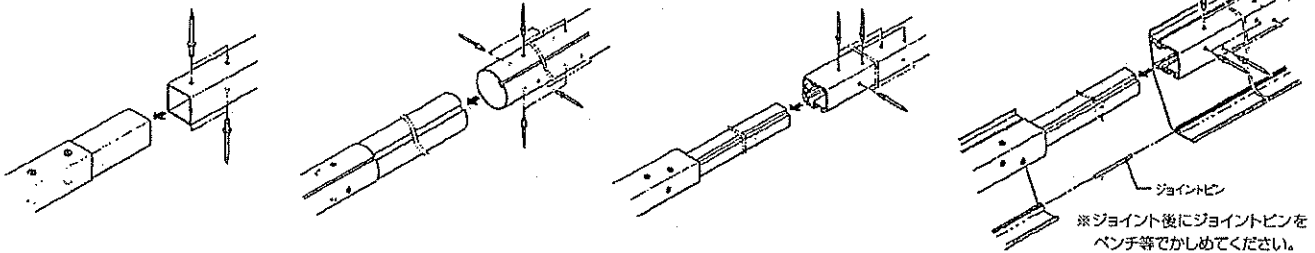
※各ジョイントの締結部は、ステンレスブラインドリベットφ4×10.2を使用してください。(下穴はφ4.2のキリを使用してください)

㊱ ベースパイプ

㊲ 巻取パイプ

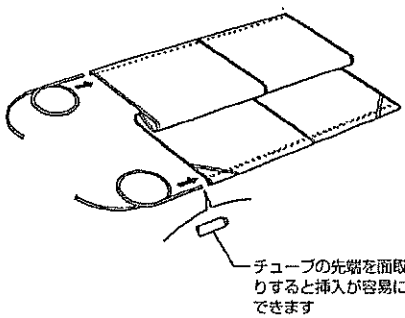
㊳ スタンダード前枠

㊴ ボックス前枠

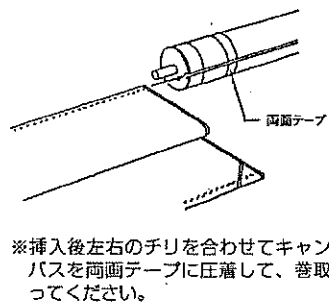


■ キャンバスの組込

● キャンバスにチューブを挿入する

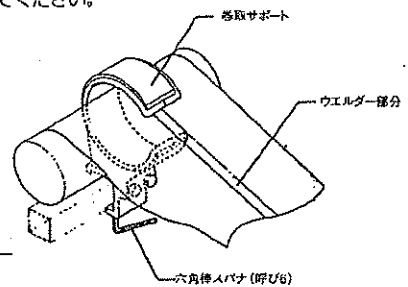


● キャンバスを巻取パイプに挿入する

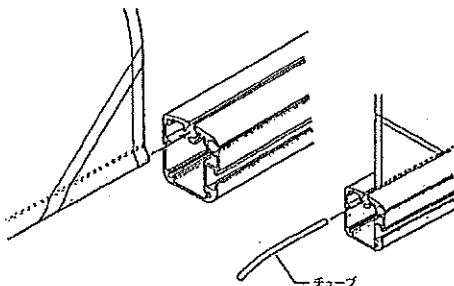


● 巻取サポートのセット

巻取サポートの設定のある場合は巻取パイプを取付ける前に、所用数の巻取サポートあらかじめセットしておいてください。キャンバスのウェルター部分に巻取サポートが納まるように、セットしてください。



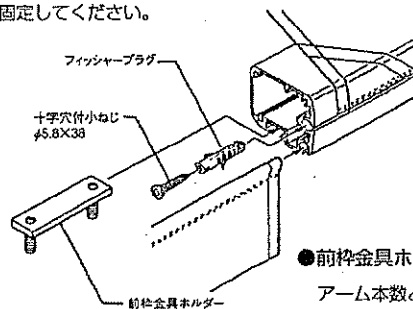
● キャンバスに前枠を挿入する



キャンバスをスライドさせないでセットする
まずキャンバスを前枠のキャンバスホールに上から差し込みます。
その後チューブを横から差し込んでいきます。

● キャンバスの固定とフリルの取付

前枠にフリルを挿入して、キャンバスとフリルを両サイドからフィッシャープラグで固定してください。



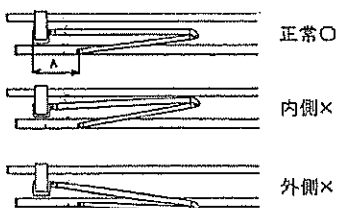
● 前枠金具ホルダーをセットする

アーム本数と同数の前枠金具ホルダーを前枠にセットしてください。

■ 前枠金具の調整

● 前枠金具の位置調整

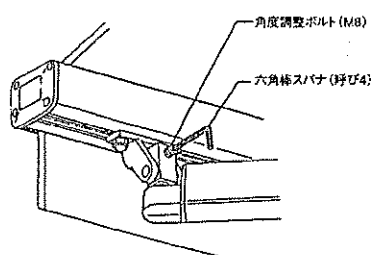
前枠金具を左右に移動してアームの位置を調整してください。



調整後に前枠金具の袋ナットを確実に締め付けてください。
※全てのアームでA寸法が均等になるように調整してください。

● 前枠の傾斜調整

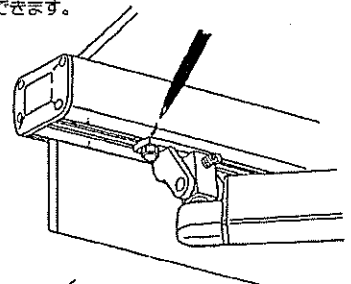
前枠が水平になるように角度調整ボルトで調整してください。



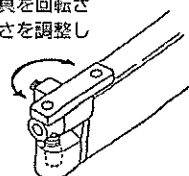
● 前枠水平の微調整

巻き取った(納った)状態で前枠の水平がでてない場合は、±5mmの範囲で高さ調整ができます。

①水性サインペン等で前枠に前枠金具の位置をマークしてから、前枠金具を前枠からはずします。



②前枠金具を回転させて高さを調整します。



※いちばん低い位置で使用したい場合は、止まるまでねじ込んでから半回転以上ゆるめた位置でセットしてください。

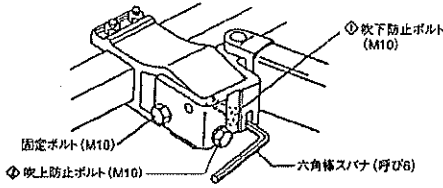
サンブリーズⅢ型

テラスサンブリーズⅢ型

■アーム角度の調整

●角度の調整

㊲ 角度下げ方向の調整



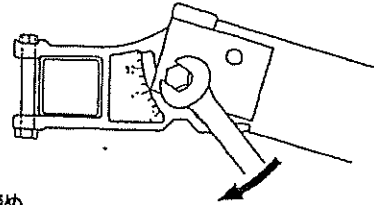
- ① ㊲の落下防止ボルトを右に回すとアームが下がります。
- ② アーム角度が決まったら㊲の吹上防止ボルトを止まるまで締めます。

㊳ 角度上げ方向の調整

- ① ㊲の吹上防止ボルトを左に回してゆるめます。
- ② アームを上方に持ち上げながら㊲の吹下げ防止ボルトを左に回してゆるめる方向に調整します。
- ③ 角度が決まったら㊲の吹上防止ボルトを止まるまで締めます。

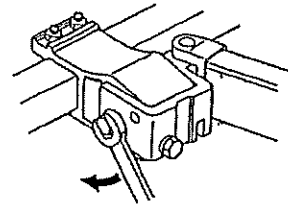
●アーム角度設定の目安

アームブラケット側面の角度マークがキャンパス角度となります。全てのアームを同じに設定してください。



●アームの本締め

前枠が水平になっていることを確認してから、サイドにある固定ボルトを確実に締め付けてください。

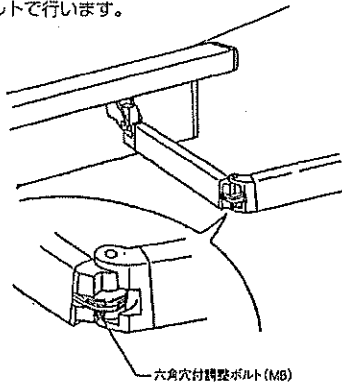


■アームテンションの調整 (参考)

アームテンションは、工場出荷時に予め調整を行なってから出荷しておりますが、状況によって、もっとテンションを弱めたい時は、下記の要領で調整を行なってください。

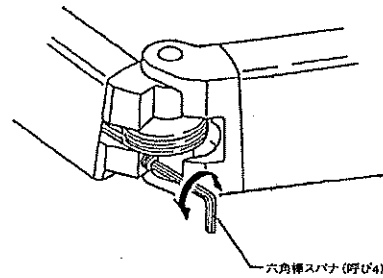
1 調整箇所

テンション調整はアームエルボ部分の六角穴付調整ボルトで行います。



2 調整方法

アームテンションを弱くするには、六角穴付調整ボルトを出す方向 (左回し) で調整します。



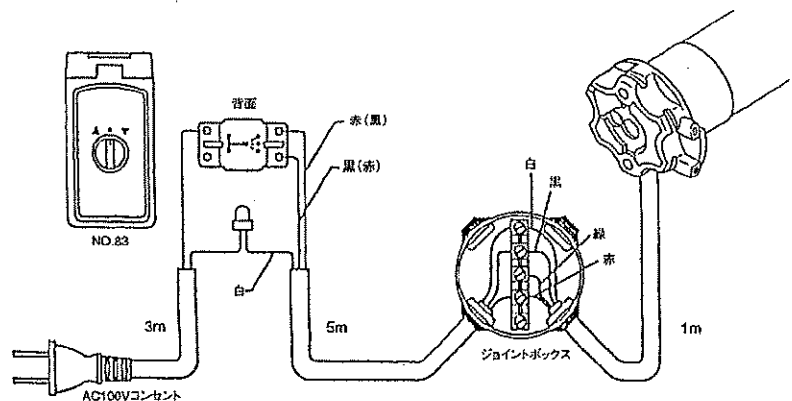
※六角穴付調整ボルトの標準出寸法は8mmです。

■電動タイプの結線

●スイッチ付属品一覧

- ① 開・閉表示スイッチ (各1枚)
- ② 鍵 (2ヶ)
- ③ プラグ付電源コード (3m)
- ④ モーター配線コード (5m)
- ⑤ ジョイントボックス (1ヶ)
- ⑥ ML棒端子 (7ヶ)
- シールドキャップ (7ヶ)
- 圧着接続端子 (3ヶ)

- ※本図はモーターが左付けの場合です。右付けの場合は()のように結線してください。
- ※No.83標準スイッチで複数のモーターを動作させる事はできません。
- ※スイッチ類は雨水のかからない所に設置してください。
- ※モーターアース線(緑線)は、現場の状況に応じた設置方法をお取りください。
- ※モーター及びジョイントボックスは直接雨のかからないところに設置してください。

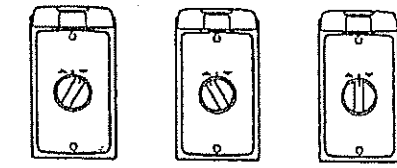


●操作方法

開閉切換スイッチを入れます。

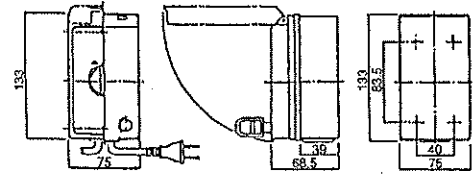
- 開きたい場合は.....▼
- 閉じたい場合は.....▲
- 停止したい場合は.....●

※開閉が終わったら、ツマミを必ず●に戻してください。



開きたい場合 閉じたい場合 停止したい場合

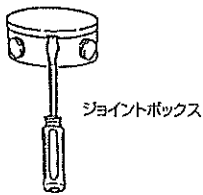
外観寸法



■ジョイントボックス

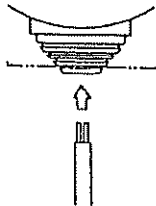
コード同士の結線で雨などに濡れる場所では、必ずジョイントボックス等を使用してください。

ジョイントボックスの開け方



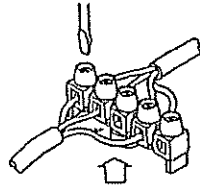
マイナスドライバーをキャップのすき間に差し込み、押し上げてください。

コードの差し込み方法



4ヶ所の内、コードを差し込む箇所のみカッターで切ってください。

端子の接続方法



端子上部の固定ネジをゆるめ、左右からコードを差し込み、固定ネジを締め付けます。接続が済んだら矢印部分を本体にはめ込み固定してください。

●適正配線コード

仕様	線芯数	記号/名称
電源	2芯×0.75mm ²	VCTF/ビニル
スイッチ	3芯×0.75mm ²	キャプタイヤ
モーター	4芯×0.75mm ²	丸形コード

※状況によりVCTFコードが使用できない場合は、VCTFコードに相当するコード、ケーブル線等を使用してください。

■マイクロスイッチの結線 (ボックスタイプ専用)

ボックスタイプにおいて電動タイプにする場合、ボックス前枠により巻取り方向のリミット調整ができないため、右図のシステムを使用して停止させます。

なお、ジョイントボックス以降の結線方法は同じです。

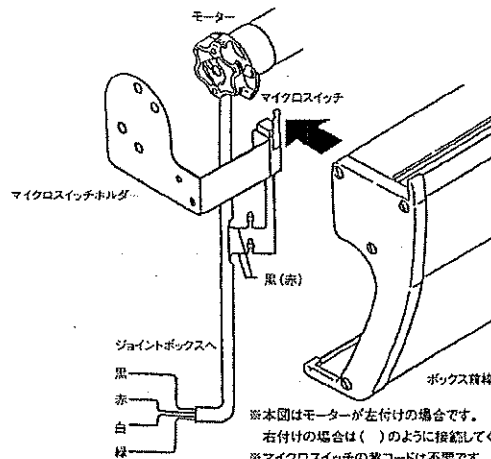
■モーターリミットスイッチの調整

特徴

- リミットスイッチの調整範囲(モーターの回転量)は、M40モーターで41回転、M80モーターで31回転です。
- リミットスイッチは、モータークラウンに同調して作動するので、巻取パイプに挿入せずにモーターのみを回転させてもリミットスイッチは動作しません。

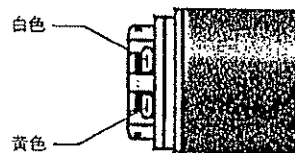
リミットスイッチ押しボタンの回転方向

- モーター外観左付けの場合
 - 黄色の押しボタンがキャンパスの張出す(開)方向
 - 白色の押しボタンがキャンパスの巻取る(閉)方向
- モーター外観右付けの場合
 - 白色の押しボタンがキャンパスの張出す(開)方向
 - 黄色の押しボタンがキャンパスの巻取る(閉)方向



※本図はモーターが左付けの場合です。右付けの場合は()のように接続してください。
※マイクロスイッチの黄コードは不要です。

コード色	外観左付けの場合	外観右付けの場合
赤	張出し(開)	巻取り(閉)
黒	巻取り(閉)	張出し(開)
白	コモン	コモン
緑	アース	アース



サンブリーズⅢ型

テラス
サンブリーズⅢ型

■リミット調整方法（モーター左付けの場合です。右付けの場合はリミットスイッチ押ボタンの黄色と白色を読み替えてください。）

●準備作業

- 1.リミットスイッチ押しボタンカバーを取り外して、黄・白両方の押しボタンをカチッと音がするまで押し込んでください。押しボタンは押し込まれたままの位置で保持されます。
- 2.スイッチ操作を行って、スイッチの表示と動作方向が正しいかを確認してください。
動作方向が違う場合はモーターの赤線と黒線を逆に結線してください。

注意：リミットスイッチ押しボタンが初期状態（出た状態）ではモーターは動作しません。

●張出す（開）方向の調整

- 1.張出す方向のスイッチ操作を行い、調整したい位置で停止させてください。
- 2.黄色のモーターリミット押しボタンを再度押し込み、押しボタンを放すとリミットスイッチ押しボタンは元の位置（出た状態）に戻ります。この時、張出す（開）方向のリミット位置が設定されます。

●巻取る（閉）方向の調整

- 1.巻取る方向のスイッチ操作を行い、調整したい位置で停止させてください。
- 2.白色のモーターリミット押しボタンを再度押し込み、押しボタンを放すとリミットスイッチ押しボタンは元の位置（出た状態）に戻ります。この時、巻取る（閉）方向のリミット位置が設定されます。

注意：リミット調整に時間がかかったり、連続して出し入れを繰り返すとモーターに内蔵されているサーモスタットが働き、押しボタンを押してもモーターが作動しなくなります。

これは故障ではありません。そのまま約30分ほど電源を切って待てば、正常に復帰します。

●確認

- 1.リミットの調整が完了したら、必ずスイッチで張出す（開）方向及び巻取る（閉）方向のリミット停止位置を必ず確認してください。
- 2.最後に必ずリミットスイッチ押しボタンカバーを忘れずに取り付けてください。

■モーター性能

	品番	モーター表示番号	電源 (ACV)	消費電流 (A)	消費電力 (W)	定格トルク (Nm)	回転数 (rpm)		定格 (分)	リミット回転範囲数	重量 (kg)
							50Hz	60Hz			
単装	M40	540R3	100	2.35	235	40	12	14	5	41	2.6
連装	M80	680R3	100	4.20	420	80	12	14	5	31	4.3

■施工後のチェック項目

施工後に必ず動作確認を行い、その後下記の項目をチェックしてください。

点検箇所	点検項目
取付ブラケット	ブラケットの取付に適正締結部品を使用したか
	使用締結部品 () ブラケット1個当りの使用部品 () 本
	ネジのゆるみ、締め忘れはないか
	ベースパイプ固定用ボルトの増締めをしたか
アーム	アームの左右、取付方法は適正か
	アーム角度はキャンバス角度で15度以上の勾配を取っているか
	アームブラケットサイドの固定ボルト (M10) は確実に締め付けたか
	アームブラケット正面の吹上防止ボルト (M10) は止まるまで締め付けたか
巻取りパイプ	ベースパイプ固定用ボルトの増締めをしたか
	巻取りパイプの組立は適正か、ギアボックス、モーターの取付は適正か
上ケース (スタンダードタイプはオプション)	Fサイド軸受けと軸管の隙間は1~3mmになっているか
	上ケース固定ボルトは確実に締め付けたか
	取付面と上ケースの間にコーキングを行ったか
巻取りサポート	ジョイントの場合ジョイント材を使っているか
	キャンバスのウエルダー部に納まっているか
その他	キャンバスのたるみ、シワ等はないか
	前枠金具の位置は適正か（アームの取付は適正か）金具は確実に固定されているか
	リミットスイッチの調整は適正か
	キャンバスを張り出したとき前枠は水平になっているか
	巻取りパイプの回転方向が、スイッチの開閉表示と合っているか
	屋外コードは、U字形にたれ下がっているか

■オーニングが動かない場合

- ①差し込みプラグが抜けていませんか？
 - ②電源スイッチ、開閉スイッチを正しく操作されていますか？
 - ③キャンバスが凍結していませんか？
 - ④開閉範囲に障害物はありませんか？
 - ⑤5分以上の連続操作をされましたか？
(約15分程度休ませると再操作できます)
 - ⑥たこ足配線で電圧を下げていませんか？
- 以上を確認しても動かない場合は、お買い求めの販売店等へご連絡ください。

■平面納まり図

